

目標達成計画

作成日：平成 25年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	地域の理解は徐々に得られているので、継続して交流の機会を持つ必要がある。	地域との繋がりを深め、より一層地域に開かれたグループホームを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の清掃などに積極的に参加することで、地域との交流を持つ。 ②四季折々の行事の際は地域住民の方々へ声をかけ、交流の機会を持つ。 ③保育所や小学校、中学校、近隣などへ広報誌を配布し、交流の場をもつ。 ④グループホームに地域の子供会や保育園児、祭礼団を招き交流の機会を設ける。 	12ヶ月
2	26 (13)	職員一人ひとりが利用者のケアプランについて把握できていない部分があり、実践に繋がっていない。	ケアプランを意識したサービスを提供する事で、利用者が「その人らしく」生活できるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者を交えたカンファレンスを実施し、プランに利用者の「思い」を反映する。 ②ケアプラン更新一か月前には家族様に連絡し、家族の方がカンファレンスに参加できるよう、日程調整を行う。 ③ユニット会議などで利用者の処遇改善について検討し、モニタリングを行う。 	12ヶ月
3	13	開設5年目を迎え、入居者の身体機能も徐々に低下してきている。また、新規の利用者の支援に携わる際も不安を与えないような介護技術、知識、対応力が求められる。	職員一人ひとりが介護技術を習得し、状況判断力を養い、利用者の安全、快適な生活を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ①職場内研修に積極的に参加を促し、参加者は職場で他の職員に伝達研修を行う。 ②介護技術研修の年間計画を立てる。 ③ミーティングの時間などを活用し、日々の業務での困難な対応、事例について検討する。(例：利用者の離設、急変時の対応など) 	12ヶ月

4	35	年に2回、避難誘導訓練を実施し、近隣住民の方々に参加を呼びかけている。今後は地震、水害などに対応できる訓練を実施する必要がある。	職員が災害時に対応でき、利用者の安全を確保すると共に危機管理意識を高める。	①年2回の防災訓練を実施する。 ②地域の消防団員、行政(警察、市)に避難訓練への参加協力を依頼する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。